

令和5年度病害虫発生予察注意報第14号

令和5年10月2日
愛 知 県

作物名：イチゴ
病害虫名：ハダニ類

1 発生地域 県内全域

2 発生程度 多い

3 注意報発表の根拠

- (1) 9月下旬に実施した巡回調査（14地点27ほ場）において、本虫の発生ほ場率は平年並であるが、寄生株率は6.6%（平年4.73%、昨年0.73%）で過去10年間と比較して3番目に高い。
- (2) 9月28日名古屋地方気象台発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は高いと予想されており、本虫の発生に好適な条件である。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 主要な化学合成農薬に対して感受性が低下した個体群を確認しているため、天敵、気門封鎖型農薬を積極的に活用して防除する。
- (2) 天敵を放飼する場合は、天敵に影響の少ない農薬を選定して防除し、ハダニ類の密度を低下させてから放飼する。
- (3) ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統農薬の連用を避ける。
- (4) ハダニ類は下葉の裏に多く寄生するので、薬液が葉裏にも十分かかるよう丁寧に散布する。
- (5) 農薬によっては、ミツバチに対しての影響があるので注意して農薬を選択する。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085 内線471

表 ハダニ類に対する主な農薬

薬剤名	希釈倍数	収穫前日数 /使用回数	IRAC
アカリタッチ乳剤	1000～3000倍	前日/ー	ー (気門封鎖)
エコピタ液剤	100倍	前日/ー	ー (気門封鎖)
サンクリスタル乳剤	300～600倍	前日/ー	ー (気門封鎖)
粘着くん液剤	100倍	前日/ー	ー (気門封鎖)
ムシラップ	500倍	前日/ー	ー (気門封鎖)
サフオイル乳剤	300～500倍	前日/ー	ー (気門封鎖)
コロマイト水和剤	2000倍	前日/2回	6
ダニサラバフロアブル	1000倍	前日/2回	25A
ダニコングフロアブル	3000倍	前日/1回	25B
マイトコーネフロアブル	1000倍	前日/2回	20D
カネマイトフロアブル	1000～1500倍	前日/1回	20B
ダニオーテフロアブル	2000倍	前日/2回	33

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、

https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/mechanism_irac03.pdfを参照する。

薬剤の使用に当たっては、ラベルの表示事項を守ること。